



って楽しいよ! 2026

～家庭読書のすすめ～

夏休みの読書におすすめの本を紹介します!

いしかわ学校読書の日
キャラクター
「ヨムモン」

選書および紹介文作成：石川県立図書館 職員

小学生(低学年)向き

川端 誠/作

天狗裁き 落語絵本

ロクリン社 1,870円(税込)



「落語(らくご)」を知っていますか。落語は、みんなの前でもしほり話をして、聞いている人を楽しませる、日本の「でんとうげい」です。見てもない「ゆめ」のことで、おくさんとだんなさんがけんかをするところからはじまります。さて、このお話は、いったいどんなオチをむかえるのでしょうか。

埴 沙萌/写真

嶋田 泰子/文

たんぽぽはひとがすき

ポプラ社 2,200円(税込)



春になると、たんぽぽはあちこちで、きいろいかおのをのぞかせます。人にかりとられてしまっても、たんぽぽは、人のそばで生きることをやめません。それは、どうしてなのでしょう。そのわけは、この本を読むとわかります。読みおわたったあと、たんぽぽを見る目が、きっとかわります。

しまおか ゆみこ/編・再話

ヤフィドゥ/絵

1 なぜなぜばなし どうぶつ村の井戸

ティンガティンガ・アートでたのしむアフリカのむかしばなし

かもがわ出版 1,980円(税込)



この本では、アフリカのむかし話が、3つしようかいされています。ハイエナのうしろあしがみじかいわけ。カバの体がつるつるなわけ。ウサギのしっぽがみじかいわけ。どうしてそうなったのかわかる、「なぜなぜ話」です。アフリカらしい、色あざやかなさし絵といっしょに、お話を楽しんでください。

小学生(中学年)向き



ヴィッキー・カウイー/作
チャーリー・マッケジー/絵
小宮 由/訳

マグルスウィックの森のおはなし

主婦の友社 3,080円(税込)

子どもたちのために、おばあさんが、ひとばんに一話ずつ語ってくれるのは、イングランド北東部にあるマグルスウィックをぶ台にした、五つのお話です。全ページをとおしてフルカラーでえがかれたさし絵も楽しい、ふしぎでゆかいなファンタジー童話の短べん集です。



日本児童文学者協会/編
ポプラ社編集部/編

シリーズ 詩はきみのそばにいる(1)
きみの心が歌いだすとき、詩は……

ポプラ社 2,530円(税込)

言葉や、言葉のリズムを使って、ゆたかな表現ができるのが、詩です。この本には、さまざまな思いや気持ち、感じようの広がりを感じられる詩が、たくさんあります。いろいろな時代や国の作者の詩を読んで、今のあなたの心にひびく、一べんを見つけてください。



高木 あゆみ/著

みーちゃん5歳、難民に会いに世界へ行く

彩流社 2,420円(税込)

5さいの女の子、みーちゃんは、ママといっしょに、110日間で14の国をめぐる旅をします。行く先で出会ったのは、ふるさととはちがう国で、なん民として生きる人びとです。そんな人たちとせつする中で、みーちゃんは、どんなことを感じたのでしょうか。平和について考えさせられる、写真絵本です。

小学生(高学年)向き

高田 由紀子/作
丹地 陽子/絵

ポジション!

岩崎書店 1,650円(税込)

ミニバスケットチームにさそわれた芽吹は、「何かが変わるかもしれない」という期待を胸に、入団します。チームメイトの百田と結人も、それぞれになやみをかかえながら、自分の居場所を模索していきます。かれらのかげやく成長を、思わず応えんしたくなる物語です。



たけたに ちほみ/文 坂口 友佳子/絵
川田 伸一郎/監修 小森 日菜子/協力

まぼろしの動物 ニホンオオカミ

小学生、なぞのはくせいの正体を追う

Gakken 1,650円(税込)

小学4年生の日菜子さんは、小さいころから絶えぬ動物が大好きです。見学先で出会った、ニホンオオカミのはく製のなぞをことごとく追求して、論文を書き上げます。その研究がみとめられ、日菜子さんは大きな賞を受賞しました。まわりの大人たちに助けられながら、一歩ずつ前に進んでいく日菜子さんのきせきをたどる、ノンフィクション作品です。



イ・ジェムン/作 山岸 由佳/訳
スカイエマ/絵

モンスター・チャイルド

評論社 1,650円(税込)

発作のあとに変異が起こり、全身に毛が生えて体が大きくなる病気、「モンスター・チャイルド・シンドローム(MCS)」。小学6年生のハニは、MCSであることをかくしながら、毎日を生きてきました。しかし、同じ病気をかかずに生きる少年、ヨヌと出会ったことで、少しずつ新しい世界が開けていく物語です。



中学生向き



高田 裕美/著

みんなの「読める」をデザインしたい
わたしは書体デザイナー

Gakken 1,760円(税込)

ある考え方にもとづいて、同じふんいきをもたせてデザインされた文字の集まりを、「書体」といいます。この本を読むと、「UDデジタル教科書体」が、さまざまな理由で読みにくさを持つ人にも読みやすくなるよう、考え抜かれて誕生したことがわかります。



ジュニスタ編集部/編

セカイに漕ぎ出す君たちへの特別授業

岩波書店 1,595円(税込)

この本は、東京都の公立中学校で、実際に行われた六つの授業をまとめたものです。それぞれの授業には、人生の先ばいたちから中学生へ向けた、自分自身の体験をもとにしたメッセージがこめられています。たとえば、最近SNSに少し疲れているあなたなら、「逆に今、ラジオが新しい」の授業を受けてみてはどうでしょう。



天川 栄人/作
くまおり 純/絵

ぼくたちの卒業写真

文研出版 1,760円(税込)

友達のいない中学3年生の蔵木は、人気者の星野から、「個性が光る卒業アルバムにしたい」と声をかけられ、カメラマンを任せられます。人物写真が苦手な蔵木でしたが、写真を通して同級生たちと向き合ううちに、彼らの意外な一面にふれていきます。この物語を読むことで、新しい気づきがあるかもしれません。

高校生向き

大井 朋幸/著
ボクは日本一カッコいい
トイレ清掃員

岩波書店 1,034円(税込)

「どんなにカッコいい仕事でもカッコ悪くもできるし、逆もまた然り」と語る著者。著者は、かつて自分が持っていた「汚い仕事」という偏見を打ち捨て、日本一カッコいいトイレ清掃員を目指して、全力で取り組む日々を語ります。少しおどけた語り口が楽しく、熱い思いに、胸を打たれます。



金原 瑞人/著

英米文学のわからない言葉

左右社 2,200円(税込)

「外国文学って、おもしろそうだけれど、なじみのない言葉が多くて、とっつきにくい」——そんなふう感じていますか。「外国文学で、よく見るけどよくわからない言葉」を、翻訳家の著者がわかりやすく解説したこの本が、きっとあなたの理解を助けてくれることでしょう。



村崎 なぎこ/著

オリオンは静かに詠う

小学館 1,870円(税込)

ろう学校に通う高校1年生の咲季は、偶然入ったカフェで、競技かるたと出会います。咲季と、コダでありライバルのカナ、競技かるたの読手・陽子、ろう学校の担任・映美。四人は、競技かるたを通して、少しずつ心をつないでいきます。読んでうちに心が熱くなる、晴れやかな青春物語です。

